

柳城

R y u j o

柳城学院報

第67号

発行所：学校法人 柳城学院

〒466-0034 名古屋市昭和区明月町2-54
TEL.052-841-2635 FAX.052-841-2697

発行者：菊地 伸二

2022年8月1日



テーマ 柳城の魅力を発信！

CONTENTS

■ 理事長・学長からのメッセージ…… 2	チャプレンからのメッセージ…… 6	三好丘聖マーガレット幼稚園…… 13
■ 法人本部より…… 3	教学事務室より…… 7	■ 2021 年度 会計報告 …… 14
■ 大学より…… 4	入試広報部より…… 8	■ 新任教職員…… 15
名古屋柳城女子大学	2021 年度 就職状況…… 10	■ 学院人事 & 役員名簿
名古屋柳城短期大学	同窓会（のぞみの会）より	■ マーガレット・ヤング基金…… 16
図書館	後援会より	■ お知らせ
多文化共生センター…… 5	■ 附属幼稚園より	
幼児教育研究所	柳城幼稚園…… 11	
キリスト教センター	豊田幼稚園…… 12	

地域から愛される学院を目指して —2022 年度事業計画から

理事長・学長 菊地 伸二



はじめに

名古屋柳城女子大学の建学の精神は、「人びとと共に生き、人びとに仕える」というものであります。大学は地域のうちにあり、その中で育てられていくものであります。柳城もまた、地域から愛される学院を目指しながら、今年度の事業計画を進めていきたいと思っております。

2022 年度事業計画

1 名古屋柳城女子大学こども学部の開設

名古屋柳城女子大学こども学部は、開学3年目を迎え、完成年度を来年に控えています。「人びとと共に生き、人びとに仕える」という建学の精神のもと、地域の人びとと共に生き、地域社会のニーズに応えられる保育者の養成を目指します。

2 理事会体制と教職員との連携強化

役員の責任の明確化、監事の牽制機能の強化、評議員会における監査機能の強化を図っていきます。理事は学生募集、財務、教学、大学間連携、聖公会連携、附属幼稚園、労務の各分野を担当し、関係部署と連携して業務の遂行に努めます。

3 大学および短期大学への入学者の確保

両大学の定員確保のために、教職員が一丸となって募集広報に取り組みます。とくに、学長室長、学長補佐を新たに置き、学長のリーダーシップのもとに、募集広報の働きにも加わり、大学・短大教職員との連携強化を図り、目標達成に努めます。

4 教育の質保証と学生支援の強化

IR 室を中心に教学関係の課題の整理や分析に有効なデータを洗い出し、関係委員会・部署と連携して「教育の質保証」の可視化に努めます。学生生活や就職のサポートについては、当該委員会・部署が連携しながら構築します。

5 中期計画の遂行と学院運営の強化と推進

大学・短大・附属幼稚園の学院全体の運営の強化と推進に努め、中期計画を確実に遂行します。後援会、同窓会、幼稚園・保育園・施設、教会等の関係する団体や企業など内外に広く呼びかける募金活動（受配者寄付金制度）を推進するとともに、優れた保育者養成のための給付型奨学金「マーガレット・ヤング基金」の充実を図ります。

6 財務状況の改革・改善

法人を中心に「柳城学院経費削減計画」を滞りなく推進します。経常経費の支出の抑制、補助金獲得強化の分析、事業計画に基づく予算管理の構築を図り、予算管理を徹底します。各課の業務の見直しを行い、現有職員で運用できる組織体制の改革に努めます。

7 教職員の専門性への取組

教員間の授業公開の機会や科研費等に関する学びの機会を設け、FD 研修のさらなる活性化を図るとともに、教職員が協力して、教学マネジメントを活発に語り合う SD 研修を実施します。昨年、第三者評価を受審した名古屋柳城短期大学は、認証評価で明らかになった課題について迅速に対応するとともに、認証評価

の内部質保証の向上に努めます。

8 人事に関する制度の構築

人事関連の規程の改正、貢献度を公正に評価した人事考課制度の試行的導入、働き方改革に必要な環境整備、及び定期的な人事異動の推進を図り、人事担当部門の運営・強化に努めます。

9 社会のニーズへの対応

愛知県現任保育士研修運営協議会の活動としては、今年度は四大・短大共催で、8月に園長研修を行います。また、「誰一人取り残さない」というSDGsの精神は、本学院のキリスト教の精神にも通ずるものがあり、今年度も、SDGs・ESD教育の研修を企画するとともに、学内でのさらなる浸透を図ります。さらに、2025年に開催される大阪万博への参画準備として、子育て支援AED普及等について検討します。

10 地域貢献への取組

名古屋柳城女子大学及び名古屋柳城短期大学は、地域連携、大学間連携、高大連携に積極的に取り組んでいきます。

名古屋市昭和区・昭和区社会福祉協議会、東郷町との相互連携による協定締結を踏まえ、子育て支援、教育・保育等の分野において人的、知的資源の交流を深めます。名古屋学院大学との包括的・継続的な連携協定を踏まえ、国際交流や学生交流の推進、大学入学共通テストの共同開催などに努めます。

すでに連携締結している名古屋大谷高校、豊田大谷高校、聖カピタニオ女子高校、西陵高校との関係をさらに深めるとともに、新たな高校との連携も目指していきます。

11 歴史資料室の整備

昨年度、規程として定めた「柳城学院歴史資料室規程」及び「柳城学院史資料収集方針」に基づいて、資料目録の整備、書架の整備等を行っていきます。

■ 法人本部より

地域貢献と教育の質保証

多文化共生と地域貢献（愛知県「多文化子育てサロン設置促進事業」に採択）

柳城学院では、キリスト教に基づく教育の場として、長い歴史において、名古屋市及び周辺地域を中心に、地域への協力、貢献を重ねてきました。

現在でも教職員や多くの学生にて地域に出向き、多様な企画、イベントを通して地域課題に取り組んでいます。

大きな事業としては、2022年5月、愛知県「多文化子育てサロン」設置促進事業に申請をし、学校法人としては初めて採択されることが決定しました。学院としては、4大設置において、多文化共生の推進については重要な位置づけとしていましたので、これを機に、外国にルーツを持つ家族の多様な課題について支援ができればと期待しているところです。

この事業を進めるにあたり、相互連携協定を結んでいる東郷町をサロンの開催地域とし協力をいただくこととしています。



多文化共生センター委員

東郷町との連携においても、2年目を迎え、多方面での企画推進が始まっています。

2021年度での連携企画としては、本学

教員が講師となって、東郷町内の保育園の園長及び主任保育士を対象に実践的な研修を実施しました。専門的な見地から保育士の悩みに言及し、大変喜ばれました。

また、12月には、東郷町未来プロジェクト課主催の「クリスマス絵本読み聞かせ会」が開催され、本校の教員と学生にて、地元の園児を持つご家族に対し、楽しい時間を過ごしてもらいました。この企画は、本校の学生にとっても地域とのつながりの重要性について理解する機会となりました。



本校の所在地でもある名古屋市昭和区でも地域連携にて多くの企画にかかわっています。

その一つとして、鶴舞公園内で進めている「花育」プロジェクトがあります。

ここでは、SDGs「陸の豊かさを守ろう（目標15）」にもつながながら、「種だんご」から花を育てる魅力的な企画にもチャレンジしました。

学生にとっては、大変楽しい時間となりました。



学院として重要な情報発信の一つにSDGsへの取組があげられます。

2021年度では、教職員皆がSDGsへの理解を高めるために、外部講師をお呼びして、セミナーを開催しました。

大きくは自然環境問題の解決に向けての今後の取組から、大学としての小さな一歩について意識を高める良い機会となりました。



短大認証評価において本学短大が適格と認定される



大学は、国立、公立、私立を問わず、その教育研究水準の向上に資するため、教育研究、組織運営及び施設設備の総合的な状況に関し、7年以内ごとに、文部科学大臣が認証する評価機関（認証評価機関）の実施する評価を受けることが義務付けられています（学校教育法第109条第2項及び学校教育法施行令第40条）。この認証評価制度の下で、各大学は、複数の認証評価

機関の中から評価を受ける機関を選択します。

柳城短大は2021年9月9日と10日の2日間にわたって、一般財団法人大学・短期大学基準協会による2020年度の認証評価がリモートにより行なわれました。その結果、基準協会より「適格」とであると認定をされました。以下が適格認定マークになります。

■ 大学より

名古屋柳城女子大学

Ⅱ こども学部3年目、学生の育ちと教員の協働

本学部では、「子どもを学び、子どもに学び、ともに学ぶ」という学びの循環を教育理念とし、保育の専門性を追究し成長し続ける実践家を養成しています。学んだことをフィールドに出て体験し、振り返ることで省察力を仲間とともに身につけていくプログラムです。（開学当初の学院報でもお知らせしました。）

開学3年目に入り、中心的な教科「子ども学フィールドワークⅠ、Ⅱ、Ⅲ」も、Ⅲが開始されました。1年生の幼稚園での観察学習（Ⅰ）、2年生の保育所で子どもを理解し子どもとかわる実践学習（Ⅱ）、これらの学習を積み重ねた3年生が子育て支援の実践学習（Ⅲ）を始めたというわけです。教員たちは、3年生の成長した姿に、このプログラムの有効性を感じています。各教科とも4～5人の複数担当ですので、ほとんどの教員が3つの科目のいずれかにかかわっていると同時に、各学年のアドバイザーを担っています。

独自プログラムであるため、既存の教科書ありませんし、教育方法も手探りです。担当者グループは、常に打合せをし、授業計画を立てて実践し、省察することを繰り返し、教育力を磨いております。開学3年目ですが、これらの教科の教育実践を通して教員集団の結束力が高まっているように思えます。学生が、子ども学フィールドワークを軸にいろいろな教科を関連付けて学修することを意図したカリキュラムですが、学生だけでなく、教員の側にも大きな成果があったことに気づかされています。今年度は、4年制大学としての完成に向けた努力はもちろんのこと、完成後を見据え名古屋柳城

女子大学の教育プログラムの検討を課題としています。

「子ども学」をこれから学ぼうという高校生、あるいは「子ども学」を学びなおそうとお考えの卒業生の皆さんに、学ぶ者と教える者が省察してともに成長する本学のプログラムに、是非参加していただきたいものです。

（学部長 鬘櫛久美子）

名古屋柳城短期大学

Ⅱ パンデミックの中での名古屋柳城短期大学の取り組み

2020年度から長期に亘って続くパンデミックの困難な時代に、名古屋柳城短期大学では、学生や教職員を守りながら保育者養成の責務を果たすために、多岐にわたって様々な対策を実行してきました。対策では、学生の学ぶ機会と場・学ぶ権利を保障することを大切にしながら、集団の中でいかに感染（特にクラスター）を抑えることができるか、という難しい問題がありました。その対処方法として、午前／対面授業・午後／遠隔授業（WEB授業）を基本形として、1～2週間単位で対面と遠隔を入れ替えた授業実施計画を立て実施しました。この方法の利点は、感染の危険度が高まる昼食の時間を避けることができ、さらに、大方の学生が毎日大学で学ぶことができる点にあります。並行してマスクの着用、手洗い、3密回避の啓もう活動、ワクチン接種の奨励と支援（名古屋学院大学での大学拠点接種）をも行うことで、学内での感染はほぼ抑えることができました。さらにこの困難な時期に、一般財団法人・短期大学基準協会による短期大学認証評価を2020年度に受け、2021年度には適と認証されました。

2022年度5月23日からは、withコロナの時代に対応すべく、全面对面授業（一部遠隔可）に舵を切り直し

ました。実に、2020年度5月から始めた対面授業・遠隔授業（WEB授業）の交互実施から丁度2年となります。この間、2020年度は、学外での学びや地域社会と協働したプログラムのほとんどが中止を余儀なくされました。しかし、2021年度からは、「レクリエーション理論・実技」の授業で、昭和区子育て応援拠点「こころと」と共催した子育て支援活動を後期に二回開催することができました。さらに、名古屋柳城女子大学と共催した合同ゼミ（夢ゼミ）では、「KAPURA アニメーション（カプラ研修）」を実施し、フランス発祥の最新のブロック遊びを体験し、全学生が保育力を高めることができました。2022年度の合同ゼミ（夢ゼミ）は、4月に「ゆるスポーツ」体験会を開催し、学生の融和と保育力向上を図りました。また、毎年本学のキッズルームで行われていた「すくすくタイム」は、2021年度に関しては、参加組数と回数（6回実施）を縮減して開催していました。しかし、2022年度は、5月の連休明けから参加親子数は6組と制限しましたが、毎週月曜日・木曜日と週二回の開催を継続的に実施しています。

このように、withコロナの中での学びの機会と場を、保育士養成に携わる本学の特性と現状を基に熟慮を重ね、着実に推し進めています。

（学科長 若杉 雅夫）

図書館

Ⅱ 最近の図書館情報

今回は、図書館に関する最近の情報の中から2件をお伝えします。

■ 四大設置のための図書館資料

四大設置申請にあたり文部科学省に提出した図書館資料の整備計画のとおり、2022年3月の受入れをもって、

3年間にわたる資料の受入れを完了しました。受入れ件数は次のとおりとなります。

(単位：件)

年度	和 書	洋 書	視聴覚資料	電子書籍
2019	742	108	28	87
2020	171	164	31	15
2021	441	104	0	0
合 計	1354	376	59	102

※電子書籍は全て和書である。

上表の資料のほか、洋雑誌7誌の定期購読（うち6誌は電子ジャーナルとしても受入れ）を2019年度から開始し、各種辞典・事典のオンラインデータベース1件を2020年度から導入しています。

■ 開館時間の変更について

今年の4月から、平日授業日の図書館の開館時間を朝8時30分としました（これまでは9時）。4月・5月・6月の8時30分から9時までの来館者数は合計で72人です。この期間のうち何日かには1時間目に紙芝居を使う授業があり、その直前に紙芝居を借りるためたくさんの学生が来館しました。これにより全体として来館者数は予想を超えるものとなりましたが、ほかの目的で来館する利用者（学生・教職員）もかなりいて、開館時間を早めることが図書館の利便性向上に役立っていると感じています。

今後も朝の図書館を有効に利用していただければ幸いです。

※図書館でもコロナ禍における利用制限を少しずつ解除しています。コロナ以前の状態に戻るまでもう少しです。

(図書館 藤田 憲哉)

多文化共生センター

II 多文化共生センターからの報告

2021年度の多文化共生センター

は、教員のFD研修会で、附属幼稚園の園長先生に「外国にルーツをもつ子どもを受け入れて」というタイトルで実践報告をしていただきました。また、柳城祭企画で附属幼稚園の外国にルーツを持つ親子に出演をお願いし、中国・ブラジル・タイの「じゃんけん」と、指を使った数の数え方を動画で撮って公開することができました。さらに、名古屋柳城短期大学の外国にルーツを持つ卒業生を外部講師としてお招きし、外国にルーツを持つ子どもたちが28名いる保育園で活躍されている様子を学生に話していただきました。そして、図書館に「多言語絵本コーナー」を設置しました。子どもたちの笑顔を引き出す絵本が、日本語を含めて14カ国語で合計181冊並んでいます。

2022年度は、愛知県の「多文化子育てサロン」設置促進事業に応募して、採択されました。日本人親子と外国人親子の交流、相互理解、子育て支援の場を提供することが目的です。柳城学院と相互連携協定を結んだ東郷町で、1年間で合計7回の活動をします。テーマは「絵本で楽しむ世界の文化」、「世界の楽器で奏でるみんなのリズム」などで、本学の教員が講師となり、保育者をめざす学生も参加します。

(センター長 松本 一子)

幼児教育研究所

II 地域に寄り添った子育て支援を

幼児教育研究所では、コロナ禍で停滞していた地域の子育て支援活動を再開し始めております。昭和区や社会福祉協議会、公立保育所との連携事業、



教員による講座開催等は細々と継続してきましたが、2022年度より、学内キッズルームでの子育て広場「すくすくタイム」が本格再開しました。週2回、完全予約制のもと来校した0・1歳児の親子が、スタッフに見守られながらキャンパス内で過ごす様子は、保育を学ぶ学生にとっても大きな刺激です。今後も、子どもや子どもに関わる全ての皆様への支援の在り方を考え、地域へ貢献できるよう、取り組んでいきたいと考えています。

(委員長 菊地 篤子)

キリスト教センター

II 新体制で迎える大学礼拝

本年度から後藤香織司祭をお迎えして、相原太郎司祭とチャプレン二人体制で大学礼拝（毎週水曜：16時30分から）を守っています。コロナ禍への対応策を講じながら、学生宗教委員によるサーバーや受付が再始動するなど、少しずつ前年度までよりも礼拝への取り組みができるようになってきています。さらに、学生たちによるミュージックベルの演奏が行われたり、聖歌隊サークルが聖歌を歌ったりと学生たちの活動も行われるようになり活気を取り戻しつつあります。キリスト教センターの一同お待ちしておりますので、機会がありましたらどうぞ大学礼拝にお越しください。

(宗教委員長 高瀬 慎二)



チャプレンからの メッセージ



皆さんの生活とはあまり関係が無いと思われるかも知れない「聖書」ですが、実は結構わたしたちの生活に影響があるのです。

例えば、カレンダーの一週間はどのようにして七日なのでしょう？ もちろん、その理由は複合的ですが、旧約聖書の創世記冒頭で、神さまがこの世界を六日間で創造し、七日目に休まれたという記述が、文献上の一週間の根拠になっています。わたしたちが馴染んでいる、週休2日制も、旧約聖書の申命記にある「六日の間働いて、何であれあなたの仕事をし、七日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。」という規定によって、ユダヤ教徒が土曜日を、キリス

ト教徒が日曜日をお休みの日としたことが元になっているのです。

また、21世紀は「人権の世紀」と言われますが、人権思想の根拠は、他でもない聖書に見いだされる思想です。旧約聖書の創世記1章27節には「神はご自分にかたどって人を創造さ

聖書とわたしたち

チャプレン 司祭 アンブロージア後藤 香織

れた。神にかたどって創造された。」と記されています。凄い宣言ですね。これが人権思想の根拠なのです。古代オリエント世界では、王さまだけが「神の似姿」でした。それ以外の人は、神の似姿ではなく、王さまから遠くなればなるほど、その人は大切ではない存在であると考えられていました。

人間には、大切な人と大切でない人がいるのが当たり前とされていた世界の中で、聖書はすべての人が等しく「神の似姿」であり、大切でかけがえのない存在なのだと語っているのです。

現在でも、まだまだ尊重されるのが難しい、すべての人が大切であるという人権の考え方が、何千年も昔に記された「聖書」にその根拠をもっていて、わたしたちの日常生活に深く関わっているなんて、不思議な感じがしませんか？

どうぞ世界の半数以上の人々が、人生の指針としている聖書を、柳城のキャンパスライフの中で開いて見てください。きっと皆さんの人生を豊かに彩ってくれるみ言葉に出会えるはずです。



旧約聖書の創世記に「バベルの塔」という有名な物語があります。人々は天まで届く高い塔の建設を始めますが、神はその塔を壊し、一つであった人間の言語をバラバラにした、というものです。

バベルの塔の何が問題であったかというと、高い塔そのものよりも、その目的でした。その目的とは、彼らの言葉の中にある「有名になろう」というものでした。この言葉が意味するのは、自分を中心に生きる、自分の強さを土台にして生きる、ということでありました。自分を世界の中心にして生きようとすると、神の存在を忘れ、周りの人を見下し、あたかも自分が神であるかの

ようになってしまいます。

一方、イエスが示された愛とは、自分中心のバベルの塔の建設とは全く反対の事柄でありました。イエスは、徹底して自分中心の考えから離れ、自分を高くするのではなく低くし、他者の

バベルの塔

チャプレン 司祭 ヨハネ相原 太郎

痛みや悲しみに寄り添われました。とりわけ、当時の社会から排除され、差別され、抑圧を受けていた人たちと共にあろうとしました。それは、全ての人が、本来、神に似せて創造された素晴らしい存在であり、神に愛されているのだ、ということを示すためでありました。イエスの愛の生涯とは、自分

が中心になって、周りの人を見下すこととは正反対のことであったわけです。

私たちは、「愛をもって仕えよ」という建学の精神の中で学んでいます。それは、ここでの学びが、バベルの塔の建設のように、自分中心になされるものではない、ということです。むしろその反対で、神の子イエスが私たちの間に降りてこられたように、自分を低くし、他者の痛みを知り、その声を聞く中でなされるものです。

バベルの塔の物語が示しているように、自己中心的な生き方は、人との関係の切断をもたらします。私たちは、そのような生き方から離れ、イエスが示された愛をもって、豊かに生きるものでありたいと思います。

■ 教学事務室より

合同
ゼミナール

2022年4月22日、名古屋柳城女子大学・名古屋柳城短期大学では合同ゼミナール（夢ゼミ）を実施しました。今年度は感染症対策を万全にし、本学体育館を主会場として、世界ゆるスポーツ協会の萩原氏と瀧澤氏を講師に招き、“ゆるスポーツ研修会”を実施しました。



1・2年生合同ゼミということで、新生には早く大学生活に慣れて欲しいと、2年生が主導で学生ラウンジにて小グループでコミュニケーションゲームをしてから、体育館に移動しました。

ゆるスポーツは、年齢・性別・運動神経に関わらず、だれもが楽しめる新スポーツです。近年、多くの教育施設や地域のイベントで導入されています。



密を避けるために、1回あたりの参加人数を絞り、大学A・Bクラスで1・2年生縦割り2グループ、短大A・B・Cクラスで縦割り4グループに分かれて実施されました。



1グループあたりの研修時間は1時間足らずでしたが、冒頭に10分間程度のゆるスポーツに関するレクチャーがあり、その後2組に分かれて2種類の体験活動を行いました。

体育館の半面は、「ベビーバスケット」：手厚



く慎重に大切に扱わないと赤ちゃんの声で泣き出ししてしまうボールで1周受け渡すまでのタイムを競うという「ベビーバスケット・ボールリレー」を体験しました。



体育館のもう半面は、「シーソー玉入れ」：2チームで一つのカゴに玉を入れるのですが、カゴがシーソーの様な仕掛けになっており、入れすぎると引っ繰り返るという、まるでシシオシのような構造となっていて、30秒後に何個の玉が入っているかを競うゲームです。先攻のAチームが入れ始めると今回は守備（邪魔する）側のBチームも、同じカゴに入れ始めます…今回は約40個の玉が入ると引っ繰り返るようにシーソーの錘が調整されていました。ギリギリ30秒で引っ繰り返ると得点は0点になってしまいます。そこを狙って玉を入れた守備側の作戦勝ち…



これらの活動では、日頃あまり関わったことのないクラスメイトや先輩後輩と初めて関わる経験をした学生も多くいる中、この短い時間にお互いに声を掛け合い、コミュニケーション能力やリーダーシップ（もしくはフォロワーシップ）の重要性を感じることもできたようです。研修後の感想にも「初対面で最初は遠慮し過ぎて尻込みするかなと思ったが、『どんな作戦がいい』『こういう感じにしようか?』と話したり、考え合ったりすることで、交流が深まり先輩後輩の垣根がなくなった」など、夢ゼミの目的（「グループ活動を通して、人間関係を構築し、大学生としてのルールを学び、実社会のリーダーとして活躍できるスキルを身につけること」）に沿ったコメントが数多く見受けられました。

世界ゆるスポーツ協会の指導員の先生方は、開発者でもあり、現在100以上の競技があるそうです。また他の競技も体験できると良いですね。

（学生生活委員長 小野 隆）



世界ゆるスポーツ協会の指導員の先生方は、開発者でもあり、現在100以上の競技があるそうです。また他の競技も体験できると良いですね。

特別給付
奨学金

特別給付奨学金奨励奨学生（前年度学年末GPA順位上位者）の表彰式を6月15日（水）に行いました。

奨学生のみなさんおめでとうございます。引き続き、学業に励んでください。

〈こども学科2年生（2021年生）〉

- 芳田有未衣さん ●大黒 愛実さん
- 梅澤 久実さん ●武山 桃果さん
- 石田朋花さん

〈こども学科3年生（2020生）〉

- 高木 靖世さん ●吉村 美悠さん
- 秦野真利亜さん

〈保育科2年生（2021年生）〉

- 蒔田 舜介さん ●鈴木 麻友さん
- 八田実桜里さん ●杉山 彩葉さん
- 杉本 仁那さん ●石黒 一真さん
- 沖賀 鈴音さん ●加藤 乃愛さん
- 伊東 里彩さん ●原 彩華さん

柳城祭
(オンライン)

2021年度も引き続きオンラインで開催した柳城祭。テーマは「Step to the Future」。明るい未来を拓く第一歩にした

い!という気持ちで準備を重ねました。今回は2種類のショップカードを作成して広報活動をおこない、より多くの方々に柳城祭サイトを知っていただけるような工夫を凝らし、クリスマスシーズンには背景を変えてサイトをリフレッシュしてコンテンツを増やすことでワクワクが持続する仕組みを考えました（年末には動画数が約50に!）。密にならない、接触しない、向

かい合わない…という注意事項に囲まれると「仲間と一緒にいること」さえ窮屈に思えてきますが、知恵を出し合ってできることを丁寧に探っていったら、げんなりする



ようなルールの範囲内でも、予想外の多様な交流が生まれ、素敵なアイデアが育ちました。この経験は貴重です。今年度も感染症の状況等を注視しながらその開催形式を検討しますが、どんなかたちであれ、柳城祭が学生たちの若いエネルギーを発散できる愉快的「おまつり」であることを第一に考え、彼/彼女たちがめいっばい楽しんだ結果として仲間関係が豊かに育ち、一人ひとりに企画や運営の実力がついているような、そんな柳城祭を目指します。

（学生生活委員 豊田明子）

■ 入試広報部より

2022 年度入試結果

2022 年度入学者につきましては、名古屋柳城女子大学こども学部こども学科が 46 名、3 年次編入生 1 名、名古屋柳城短期大学保育科が 99 名となりました。

昨年度と比較すると大学は 10 名増加しましたが、短大は微減となっています。四大（定員 70 名）、短大（定員 130 名）とも定員には満たず、厳しい結果となりました。

少子化、保育・幼児教育志望の生徒

の減少など、厳しい外部環境にさらされていることも要因と考えます。が、柳城の魅力を広く知ってもらう効果的な広報活動を行うため、学院一体となって広報戦略を立案しての改革を進めています。

保育職の魅力も発信しつつ、高校生に柳城の教育を共感してもらえる広報を積極的に行い、入学生の確保に努めていきます。

柳城は 2023 年度には創立 125 周

年を迎えます。これまで柳城に関わってこれられました皆様が築き、育ててこられた柳城の歴史と伝統を更に発展させていく所存です。

卒業生の皆様へのお願いです。毎年入学生から、本学卒業生の方に、「保育職に就きたいなら柳城だよ！」と柳城を勧められて受験したという話を耳にします。身近に保育・幼児教育への進学を希望される方がお見えになりましたら、本学への受験をお勧めいただければ幸いです。卒業生の皆様のサポートを何とぞよろしくお願いいたします。

2023 年度入試概要

入学学生の安定的な獲得に向けて、理事会、入試広報委員会、入試広報部が中心となって、教職員一体で入試改革を進めています。

います。

特別推薦入試

同窓生推薦入試は、2022 年度は四

大、短大合わせて 11 名の入学者を得ることができました。この入試は、本学を卒業された方（在学中の方も含まれます）のお子様、お孫様、兄弟姉妹の方を推薦していただく入試です。特にこの入試は、合格者のすべての方に対して、入学金が免除される特典があり

総合型選抜入試

2023 年度入試につきましては、総合型選抜 AO 入試をステップアップ型入試としてリニューアルしました。保育者を目指し、柳城での学びに積極的な方であれば、出願資格において成績を問いません。選考については、一次選考として、事前提出のエントリーシートに基づくプレゼンテーション・面接を行い、出願を認められた方については、保育に関する課題の提出をもって書類選考を行って合否判定をいたします。

学校推薦型選抜入試等

指定校推薦入試、公募制推薦入試、同窓生推薦入試等の年内入試においては、出願書類に小論文を新たに含めません。試験内容は提出された小論文を基にした口頭試問と面接で合否判定を行

試験区分		短大募集人員	四大募集人員	出願期間 (すべて必着)	試験日	合否発表日 (発送日は前日)	手続き期間
総合型選抜	ステップアップ型 A 入試	専願	20	9/19 日～10/3 日	書類選考のみ	11/1 日	11/1 日～11/18 日
	ステップアップ型 I 入試		15				
	ステップアップ型 B 入試	専願	5	10/10 日～10/17 日	書類選考のみ	11/1 日	11/1 日～11/18 日
	ステップアップ型 II 入試		5				
	ピアノチャレンジ型入試	専願	3	10/3 日～10/10 日	2022/10/22 日	11/1 日	11/1 日～11/18 日
	自己表現／保育実技プレゼン型入試		2				
学校推薦型選抜	ステップアップ型 C 入試	専願	2	2/27 日～3/3 日	2023/3/11 日	3/15 日	3/15 日～3/23 日
	ステップアップ型 III 入試		2				
	指定校推薦入試	専願	45	10/31 日～11/10 日	2022/11/19 日	12/1 日	12/1 日～12/16 日
	推薦 A 入試	専願	3	11/7 日～11/17 日	2022/11/26 日	12/2 日	12/2 日～12/23 日
	推薦 I 入試		2				
	キリスト教系高校推薦入試	専願	3	11/7 日～11/17 日	2022/11/26 日	12/2 日	12/2 日～12/23 日
特別推薦	キリスト教系高校推薦入試		2				
	推薦 B 入試	併願	3	11/7 日～11/24 日	2022/12/3 日	12/8 日	12/8 日～1/6 日
	推薦 II 入試		3				
	同窓生推薦 A・B 入試	専願	7	11/7 日～11/17 日	2022/11/26 日	12/2 日	12/2 日～12/23 日
	キリスト教会推薦入試		2				
	同窓生推薦 A・B 入試						
一般選抜	キリスト教会推薦入試						
	同窓生推薦 A・B 入試						
	キリスト教会推薦入試						
	同窓生推薦 A・B 入試						
	同窓生推薦 A・B 入試						
	同窓生推薦 A・B 入試						
一般選抜	社会人入試(国生徒入試)		若干名	1/6 日～1/24 日	2023/2/2 日	2/10 日	2/10 日～3/17 日
	社会人入試(国生徒入試)		若干名				
	A 入試 (2 科目入試) 1 日目 (特別奨学生入試)		5	1/6 日～1/24 日	2023/2/2 日	2/10 日	2/10 日～3/17 日
	I 入試 (2 科目入試) 1 日目 (特別奨学生入試)		5				
	特別奨学生チャレンジ試験						
	A 入試 (2 科目入試) 2 日目 (特別奨学生入試)			1/6 日～1/24 日	2023/2/3 日	2/10 日	2/10 日～3/17 日
一般選抜	I 入試 (2 科目入試) 2 日目 (特別奨学生入試)						
	特別奨学生チャレンジ試験						
	I 入試 (2 科目入試) 2 日目 (特別奨学生入試)						
	特別奨学生入試						
	大学入学共通テスト利用 A 入試		3	1/6 日～2/3 日	—	2/16 日	2/16 日～3/17 日
	大学入学共通テスト利用 I 入試		3				
一般選抜	大学入学共通テスト利用 B 入試		2	2/13 日～2/24 日	—	3/8 日	3/8 日～3/22 日
	大学入学共通テスト利用 II 入試		2				

ます。また、出願資格は、高校卒業見込みの方はもちろん、既卒者も対象としています。卒業生の皆様のお力添えをいただければ幸いです。

柳城独自の入試として園長推薦入試があります。幼稚園、保育所、施設など保育現場の園長先生に高校生を柳城に推薦していただく入試制度です。2023年度入試より名古屋柳城女子大学でもこの入試を設けます。保育現場から信頼を寄せていただいている柳城ならではの入試形態です。園、施設などにボランティア等で日頃から関わりのある高校生の方で保育者養成校への進学を希望される方がおみえになりましたら、お勧めいただければ幸いです。

一般選抜入試・特別奨学生選抜試験および特別奨学生チャレンジ試験

一般選抜入試については、四大、短

大とも「特別奨学生選抜試験」も兼ねて実施しております。この制度は、試験結果により成績優秀者を特別奨学生A、特別奨学生B、特別奨学生Cとして、以下の優遇措置をいたします。また、年内に行われる入試（総合型選抜、学校推薦型選抜、特別推薦）で合格し、入学手続きを完了している方（希望者）にも特別奨学生チャレンジ試験として受験していただき、成績優秀者には同様の優遇措置が受けられます。

〈特別奨学生 A〉

- ・入学金半額減免
 - ・授業料初年度半額減免
- ※2年次以降は成績等により継続可否を決定

〈特別奨学生 B〉

- ・入学金半額減免
 - ・授業料初年度4分の1減免
- ※2年次以降は成績等により継続可否を決定

〈特別奨学生 C〉

- ・入学金全額免除

大学入学共通テスト利用入試

2023年度入試より大学入試センターの大学入学共通テストに参加することとなりました。2月、3月に各1回大学共通テスト利用入試を行います。一人でも多くの受験者が得られるようにPRに努めてまいります。

以上、詳しくは2023年度学生募集要項でご確認ください。大学案内、募集要項はホームページより請求できます。

なお、入試に関するご相談やお問い合わせをお受けしております。お気軽にお電話ください。

入試広報課

電話：052-848-8281（直通）
e-mail：kouhou@ryujo.ac.jp

2022年度柳城オープンキャンパスの開催について



2022年度の柳城オープンキャンパスが始まっています。開催日時は以下のとおりです。四大、短大紹介、入試説明、保育模擬講義、キャンパスツアー、保育ワークショップ、保護者説明会、入試等個別相談会などたくさんのプログラムを用意しています。お近くに保育職を希望する、あるいは興味関心のある高校生の方がお見えになり

ましたら参加をお勧めいただけると幸いです。

今後の開催期日は8/20（土）、9/11（日）です。いずれも開催時間は10時～12時30分です。

なお、新型コロナウイルス感染拡大に配慮して、事前予約申込制（ホームページからの申込み）で開催します。



2021 年度 就職状況

2021 年度は保育科、専攻科保育専攻の 2 学科合わせて 118 名が卒業・修了しました。その内 113 名が就職を希望し、全員が就職をすることができました。

就職先の種別を見ていくと、保育職が全体の 99.1% を占めました。そのほとんどが正規職員として採用されました。そして、その内の約 2 割が公立園へ就職しました。また今年度は、一般企業への就職者は一人もいませんでした。

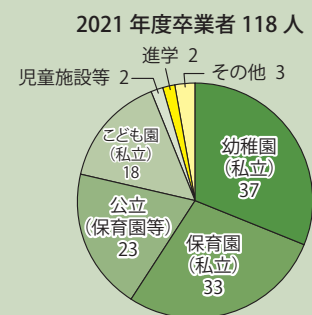
2021 年度も昨年度に続き、保育の求人数を数多く（幼稚園・保育園・こども園の求人数 1,292 件）いただくことができました。ただコロナ禍で、現場実習の機会が少なかった学生もあり、不安を抱えたままでの就職活動となりました。そのような中でも学生は保育者になる夢を叶えるため、説明会や園見学に足を運び真摯に就職活動に取り組みました。一口に幼稚園、こども園、保育所、施設と言っても園・施設によってそれぞれ個性があります。学生は『園・施設研究』を

2022 年 3 月 31 日現在					
	卒業者数 (人)	就職希望者 (人)	就職率 (%)	進学者 (人)	就職希望なし (人)
保 育 科	103	98	100	2	3
専攻科保育専攻	15	15	100	0	0
計	118	113	100	2	3

重ねて自身の考えや思いにあったところを探し、積極的に採用試験に臨んでいました。その努力が実り、皆が結果を出せたことを心から称賛したいと思います。今後保育者として、それぞれの職場で充実した人生を歩んでもらえることを祈念しています。卒業生の方が笑顔で輝いている姿を見ることが、就職課職員の何よりの励みです。

毎年、保育現場の多くの先生方から、ぜひ柳城生を採用したいという声をいただいています。先輩たちが築き上げてきた古き良き伝統をこれからの柳城生たちも受け継ぎ、立派に成長して社会にはばたいてほしいと願っています。少しでもその力になれば

るよう、就職課一同さらに尽力してまいります。（就職課）



同窓会 (のぞみの会) より

「その手を取って」

皆様、お元気でいらっしゃいますか。同窓会は今年も総会は開催できないことになりとても残念です。私は先日、握手をしました。久しぶりに人の手を取った時、そのぬくもりに心がほわっと温かくなりました。その方とお会いすることができた喜びだけでなく、その手から伝わる温度に、近頃忘れていた感覚が蘇り驚きました。

勤め先の保育園で、お昼寝中の 1 歳の子が目覚めそうになると手を握ってトントンとします。小さな手を包んであげるだけで安心してまた眠る様子は本当に可愛らしく、こちらも幸せな気持ちになります。

コロナによって笑顔はマスクによって隠され、会食は制限され、人と人の間には距離ができてシートが張られて、オンラインや非接触による支払方法等が考え出されました。あちこちに検温機が設置され表示される数字で存在を許可される毎

日が、もはや異常とも思わないほど日常化してしまいました。

それでも「お手当」という言葉があるように、人のぬくもりは心も体も癒すもの。特に柳城にかかわる方はお年寄りや小さなお子さんをお世話する方々が多いと思います。早く何も心配なく、かけがえのない一つ一つの命のその手を取ることができるようになるようお願いいたします。

(同窓会長 鎮旗 真弓)



後援会より

日頃は後援会活動にご理解とご支援頂きありがとうございます。

コロナ禍での活動は十分ではないと思いますが、皆様と力合わせて頑張りますのでご協力をお願いします。

私は柳城卒業生ではございませんが、母が卒業生という事で娘もお世話になる事に...

母と娘に挟まれ私も柳城生の仲間になりたく役員をやらせて頂く事になりました。

内側から見る学校がまた素晴らしく感動しました。

この中で学べる娘、柳城生と、先生方々、職員の方々のお力に少しでもなりたと思いました。

コロナ禍で色々考えて下さる学校と、それを乗り越える柳城生を見守ると共に後援会としてもバックアップ出来る様に頑張ります。

宜しくお願いします。

(後援会長 加藤 陽子)

2022 年度 後援会役員 (敬称略・順不同)

役職名	氏 名	学 年
1 会 長	加藤 陽子	短大 2 年
2 副 会 長	山本 里絵	短大 1 年
3 会計監査	菅松 里枝	短大 2 年
4 会計監査	山田やつか	大学 3 年
5 委 員	渡邊 陽子	大学 3 年
6 委 員	新田 奈美	短大 2 年
7 委 員	伊東小百合	短大 2 年
8 委 員	伊藤 奈美	大学 2 年
9 委 員	土屋絵里奈	大学 2 年
10 委 員	久野 有香	短大 1 年
11 委 員	鈴木恵美子	短大 1 年
12 委 員	大久保夕紀子	短大 1 年
13 委 員	小林 笑子	大学 1 年
14 委 員	三浦 由美	大学 1 年

■ 名古屋柳城短期大学 附属幼稚園より

柳城幼稚園より



2022年度が開け、施設型給付の幼稚園として2年目を迎えました。新制度移行による増収で念願であったトイレ改修をまずは1階トイレからですが昨年度夏に完了し、子どもたちはきれいになったトイレを喜んで使っています。今年度もまた、感染予防の観点から手洗い場を自動水洗にする工事を計画し、子どもたちの生活環境を少しずつ整えていきたいと考えています。



少子化で子どもの数が少なくなっている現状の中にあいながら、園児数も昨年度末には117名にまで到達し、今年度も既に一学期のうちには107名にまでなる予定で嬉しい限りです。次年度の年少組募集の状況も、満三歳クラスからの進級児と二歳児教室からの優先入園予定者で既に定員を超えることが予想され、やむなく新たな入園希望者を受け入れることが困難な状況になっています。何とかこの幼稚園に入園したいと熱い想いを抱いてくださる方の願いをかなえたいとの思いもスペースの関係上限界があり、申し訳なく思っています。それでも年度後半には異動の可能性が毎年あり、キャンセル待ちまでしてくださる方もあり



ながら、その動きもぎりぎりになってしまうことから結局のところ空きを残してのスタートとなることも例年続いているのも悩みの種です。逆に保育業界で加速する人手不足に拍車がかかり当園でもなかなか思うように必要な人材の確保がままならず頭を悩ますことが続いています。保育者養成校の附属園であることの強みを活かせるように、法人の協力を得ながら、必要な人材確保に努めたいと思います。出会った子どもたちの健やかな成長の為に、安全安心な保育環境を整え、より豊かな子どもたちの成長を促せるように保育内容を工夫しながら進めて参りたいと思っています。



また、コロナ禍も徐々に落ち着きはじめここ2年ほど控えてきたいろいろな活動を再開し始めています。子どもたちの楽しい行事は勿論のこと、短大・大学の学生や先生方との行き来も少しずつ再開しています。一学期には大学生のフィールドワークとしての観察が始まり、短大2年生の教育実習も無事行うことができました。また、短大生の初めての園訪問の観察実習？保育者を目指す学生さんたちのキラキ

ラした目が印象的でした。保育者という職業に対するあこがれの気持ちや期待が損なわれることなく、これからの様々な学習や出会いを通してより深まり2年後には就職先として附属園を目指すような学生さんになってくれることを切に願います。また、先生方の研究の場としても大いに附属園を活用し、附属園をより深く理解し、学生の学習支援の為に協力体制を整えていきますことを願います。

さて、子どもたちの様子に目を移すと、個性豊かな年少組は思い思いの活動を日々楽しんでます。給食を食べ終えたと早々に戸外に出たくなり、最後まで座っていることが難しいようです。そこで、昨年度より上の学年を追い抜く勢いの年長組の子どもたちが、年少組の子どもたちの良いお手本となり一緒に過ごすことにより年少組の子どもたちが良い影響を得て少しずつ落ち着いて過ごせるようになってきました。また、かわいい満三歳児を先を争うようにお世話したがる年中組の子どもたちにもその成長が見受けられ、異年齢の交わりによる学び合いの良さが随所に感じられる日々です。だんごむしやありなどの小さな生き物とのかかわりも子どもたちのいのちの学びにもなり日々貴重な経験を重ねています。世界中の幼いのちが危険に冒されることがないように。神様によって創られたかけがえのないいのちが守られますようにと願ってやみません。



(園長 織田 純代)

豊田幼稚園より



豊田幼稚園です！

鞍ヶ池公園や豊田市自然観察の森、豊田スタジアムなど、魅力いっぱいの施設が歩いていけるところにたくさんある豊田幼稚園。

豊田幼稚園出身の保護者も多く、地域から愛され、信頼される歴史と伝統のある幼稚園です。園舎も新しくなり、幼保連携型認定こども園として4年目を迎えました。



地域に根ざすこども園に

0歳児から5歳児まで170名を超える天使たちは、50人近いスタッフに支えられ、コロナに負けずに明るく楽しくのびのびと園生活を送っています。

園児のほとんどが、近くに住んでおり、約半数が隣接する市木小学校へ、それ以外も近隣の小学校へ進む子が多く、地域に根ざす「子育て支援センター」としてのこども園の役割を果たしています。

ハイハイができるようになったばかりのゼロ歳児、まわりにはお構いなしで、自分の世界で動き回る1歳児、それなりに先輩に見えてくる2歳児。その子たちが誕生会などでは一緒にお祈りをするのです。まさに天使そのものです。

幼小中高大の連携

豊田幼稚園では、附属幼稚園の特性を生かし、大学や短大との連携を随時

行うことができます。学生のうちから、教育実習だけでなく、いろいろな場面で、園児とともに活動する機会を設け、保育者としての楽しさ・喜び・大変さを味わうことができます。コロナの関係で、外部の人の立ち入りを制限せざるを得ない状況が続いていましたが、最近は幼稚園を訪問してくる学生さんが増えています。

名古屋柳城女子大学・名古屋柳城短期大学とは、今後ますます連携を強化していく計画です。



大学生だけでなく、高等学校との連携も強めています。特に豊田市内にある県立豊田東高校、松平高校に園児を園バスで連れていき、保育者を目指す高校生と交流を深めるプログラムを行っています。また、夏休みには多くの高校生が保育士体験をするために、来園しています。

中学生の職場体験も積極的に受け入れています。こうした経験を通して「保育のお仕事」の楽しさ、すばらしさを味わってもらえればと考えています。



隣接する市木小学校とは、子どもたちの交流だけでなく、施設や備品などについても、相互利用の便宜を図るようになっています。小学校の広い運動場で、正月の凧あげをして園児が走り回ることもあります。

他にも、園長が、高等学校の「キャリア教育推進委員」、地域の「高橋コ

ミュニティスクール連絡会議委員」となり、連携強化を進めています。

慢性的人不足

働き方改革が叫ばれています。保育の現場も「ブラックな職場」のイメージがあります。本来は、楽しくて素敵な仕事であるにもかかわらず、昔ながらの働き方をしていると、明らかな法令違反となります。昨年は就業規則の見直しも行い、「令和の働き方」になるよう改革を進めています。

世間では「学校の教員不足」が言われていますが、保育の現場も慢性的な人不足です。豊田幼稚園は、認定こども園です。子どもたちは朝から晩までいます。夏休みも多くの子どもたちを預かっています。昼間のパートさんは経験豊富な方がたくさんいます。しかし、専任の保育教諭（こども園なので、保育士資格と幼稚園教諭免許の両方が必要です）は必要人数を確保することができません。昨年度末も、結婚や出産など、惜しまれながらも多くの専任職員が退職しました。



今年度、柳城短大卒3名を含め、新たに6名を迎え入れることができたが、まだ足りない状況です。来年度の求人も積極的に行っていきます。

働いている教職員が「この幼稚園で働いてよかった」と思えるような園を目指しています。新たに保育現場で働きたいと考えている方、今の職場をやめて、新しい環境でキャリアアップを図ろうとしている方、子育ても落ち着いてきたので、現場復帰したいと考えている方、将来は、主任や園長をやってみたいと考えている方、ぜひ、園長にご連絡ください。お待ちしております。

（園長 澤田 二三夫）



園バスが新しくなりました

2000年4月に開園した三好丘聖マーガレット幼稚園も今年で23年目を迎えます。この春、開園当初から22年間走り続けた幼稚園のバス「にじ号」が引退し、待望の新しい幼稚園バスがやってきました。



名称は「あお号」です。通園はもちろんのこと、園外保育で少し離れた公園に行く時やマーガレットファーム（愛知牧場の南側）に行く時にも大活躍。普段バス通園ではない子ども達にも出来るだけバスに乗る機会を作っています。

附属3園共通の『ノアの箱舟』のイラストもかわいくて気に入っています。このバスはみよし市内だけでなく、豊田市、日進市、東郷町の子ども達を乗せて走っています。バスのルート近くに住んでいる小さい子どもたちにも来年是非乗って欲しいとの願いを込めて♡、先生たちは手を振っています。

大好きな園庭遊具がきれいに变身

昨年の夏休みに大型総合遊具をメン



テナンスしました。

園庭のメインである木製部分と鉄製ローラーすべり台が一体となった遊具が子どもたちは大好きです。

この遊具も開園当初からのもので、これまで何度も補修をしながら大切に使ってきました。ただ木の感触、風合いを大切にしている遊具の為どうしても経年劣化が激しく、木の足元が部分的に腐食していました。そこでこの先も長く使っていけるように土台の一部を鉄にして、地震にも耐えられるように改修しましたので、小さなお友だちが園庭開放で遊びに来た時にも保護者の方と一緒に安心して遊んでもらうことが出来るようになりました。高いところに昇ること、バランスをとりながらゆらゆら橋を渡ること、ローラーすべり台でスリルを味わう等の遊びを通して子どもたちの体幹が養われることを期待しています。

いのちのおはなし（年長親子参加）

毎年、一宮市の助産師グループOHANA（おはな）の皆さんに、年長児と保護者に『いのちのおはなし（授業）』をお願いしています。私たちはどうやって生まれたの？お母さんは誰から生まれたの？おばあちゃんは何という話からはじまり、子どもたちにわかるように妊娠から出産までのお話しを手作り模型などを見ながら学びます。お腹の中の赤ちゃんが少しずつ大きく重くなっていく過程の人形を抱いたり、妊婦さんのお腹がどんなに重いのかを体験したり、へその緒がどんな役割なのか等々、約1時間お話を聞く事ができました。この時期に生教育（性教育）を受ける事で、生んでくれたお母さんへの感謝の気持ちといのちの大切さを覚えます。そしてプライ



ベートゾーンの事を知り、性犯罪や性暴力に合わないような知識も身に付けて欲しいと願っています。



体操

週に1回体操をします。子どもたちは体操が大好きです。お兄さんの先生と遊びながら体操できるのも魅力のひとつかな？転んでも手がつけるように、俊敏性を養います。

年長組は6月頃から室内で運動会の種目「組体操」の準備を始めます。

力を合わせて頑張ります。運動会が楽しみです。



どろんこあそび

ぶどう棚の下のお砂場に水を入れてどろんこあそびを楽しみます。

いつものお砂場がみるみるうちに池のようになってきます。川を作ってみたり、どろんこを体にぬってみたりと思い思いのあそびを繰り広げ、砂の性質を試す実験場になっています。夏ならではの遊びを一杯楽しんでほしいと思います。

（園長 児玉 文子）



2021年度 会計報告

資金収支状況

(単位：千円)

	科 目	2020 年	2021 年
収入の部	学生生徒等納付金収入	442,767	416,952
	手数料収入	6,810	6,292
	寄付金収入	10,349	5,523
	補助金収入	310,608	398,484
	資産売却収入	250,399	250
	付随事業・収益事業収入	24,305	31,776
	受取利息・配当金収入	7	6
	雑収入	15,088	16,219
	借入金等収入	0	0
	前受金収入	37,335	35,810
	その他の収入	45,526	27,968
	資金収入調整勘定	△ 60,159	△ 76,362
	前年度繰越支払資金	765,226	555,937
	収入の部合計	1,848,265	1,418,859
支出の部	人件費支出	590,081	686,894
	教育研究経費支出	172,350	141,167
	管理経費支出	89,894	86,528
	借入金等利息支出	1,084	1,025
	借入金等返済支出	13,080	13,056
	施設関係支出	10,919	14,681
	設備関係支出	22,426	20,152
	資産運用支出	1,200	1,200
	その他の支出	417,034	24,868
	資金支出調整勘定	△ 25,743	△ 26,216
	翌年度繰越支払資金	555,937	455,500
	支出の部合計	1,848,265	1,418,859

[2021 年度決算状況]

1. 収支の状況

4 年制大学開学 2 年目で、短大に於いても学生獲得に苦戦した。2021 年度の事業活動収入は、876,607 千円、事業活動支出 1,055,075 千円、基本金組入前当年度収支差額は△ 178,467 千円となった。活動区分による教育活動資金収支差額は△ 67,366、事業活動による教育活動収支差額は△ 196,841 千円と共に大きくマイナスとなった。学生数減他、4 年制大学完成年度未到達による人件費をはじめとする経費の増加、加えてコロナ禍対応での業務縮小による収入減及び係る経費が膨らんだ事に起因する。しかし、新制度移行の附属幼稚園に於いて給付額の増加により厳しいながらも資金収支による繰越支払資金は 455,500 千円で、前年比 100,436 千円の減少にとどまった。

2. 貸借対照表

総資産額は 3,651,265 千円となり前年対比 187,752 千円減少した。固定負債は、附属豊田幼稚園園舎改築資金借入金 207,808 千円を含め 351,889 円、流動負債は、85,430 千円で前年度比 2,486 千円増加した。

[学院：事業活動収支差額の経年変化]

■ 事業活動収入

学生生徒等納付金、補助金などの学校法人の負債とならない収入

■ 事業活動支出

人件費、消耗品費、光熱水費などの消費する支出及び資産の消費額

■ 基本金組入前当年度収支差額

事業活動収入 - 事業活動支出

■ 事業活動収支差額比率

基本金組入前当年度収支差額 ÷ 事業活動収入。率が高いほど自己資本が充実していることを示す。少なくとも、10% 以上が望ましい。

※ 2015 年度より学校会計基準が改正となり、帰属収入→事業活動収入、消費支出→事業活動支出と名称変更となりました。

事業活動収支状況

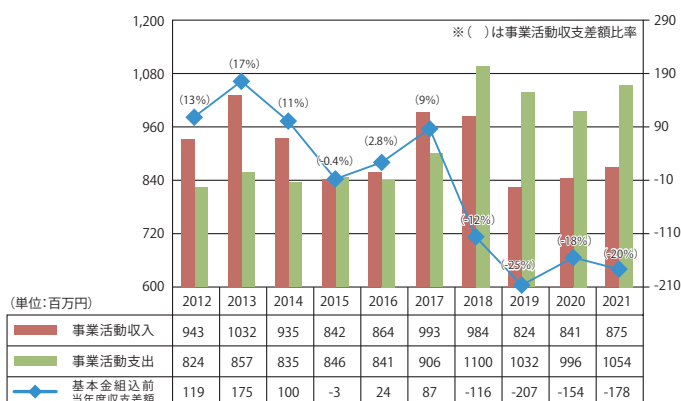
(単位：千円)

	科 目	2020 年	2021 年
教育活動収入	学生生徒等納付金	442,767	416,952
	手数料	6,810	6,292
	寄付金	10,000	5,730
	経常費等補助金	299,257	385,678
	付随事業収入	24,305	31,776
	雑収入	15,088	16,219
	教育活動収入計	798,229	862,650
教育活動支出	人件費	590,767	688,383
	教育研究経費	306,071	270,400
	管理経費	98,231	93,752
	徴収不能額等	0	0
	教育活動支出計	995,071	1,052,536
教育活動外収支	受取利息・配当金	7	6
	その他の教育活動外収入	0	0
	教育活動外収入計	7	6
	借入金等利息	1,084	1,025
	その他の教育活動外支出計	0	0
	教育活動外支出計	1,084	1,025
特別収支	資産売却差額	32,000	249
	その他の特別収入	11,917	13,701
	特別収入計	43,917	13,951
	資産処分差額	802	1,513
	その他の特別支出	0	0
	特別支出計	802	1,513
	基本金組入前当年度収支差額	△ 154,803	△ 178,467
	基本金組入額合計	△ 318,161	△ 33,423
	当年度収支差額	△ 472,965	△ 211,890
	前年度繰越収支差額	△ 818,242	△ 1,290,530
	基本金取崩額	677	6,481
	翌年度繰越収支差額	△ 1,290,530	△ 1,495,940

貸借対照表の推移

(単位：千円)

	科 目	2020 年	2021 年
資産の部	固定資産	3,257,829	3,155,868
	流動資産	581,188	495,396
	(内、預金)	555,937	455,500
	資産の部 合計	3,839,017	3,651,265
負債の部	固定負債	363,660	351,889
	(内、借入金)	220,864	207,808
	流動負債	82,943	85,430
	負債の部 合計	446,604	437,319
基本金の部合計		4,682,944	4,709,886
翌年度繰越収支差額		△ 1,290,530	△ 1,495,940
負債及び純資産の部合計		3,839,017	3,651,265



■ 新任教職員

短期大学

名古屋柳城短期大学

植松 愛



4月から名古屋柳城短期大学の教員としてお世話になります。私は約20年前に柳城短大を卒業し、幼稚園、保育園で現場経験を積みながら大学院進学を経て保育者養成の道に進みました。授業は「幼児理解と教育相談」「教育実習法Ⅰ・Ⅱ」「子ども家庭支援の心理学」「乳児保育Ⅱ」を担当します。

学生の頃、私は当時の先生方に子どもの魅力や保育者の素晴らしさ、そしてかわるすべての人に「愛をもって仕える」ことを教わり、夢を持って卒業してきました。今度は私が学生に夢をもって旅立てるように尽力したいと考えています。若輩者ではございますが、何卒宜しくお願い致します。

伸びと元気に遊ぶ子どもたちからパワーをもらい楽しく過ごしています。

学生の頃から建学の精神『愛をもって仕えよ』に感銘を受けてきました。キリスト教保育とは離れていた時期もありましたが、今回頂いた縁を大切に今一度、この言葉を胸に、子どもたち先生方と過ごしていきたいと思っています。まだまだ勉強することはたくさんありますが日々成長していけるように頑張りたいと思います。

豊田幼稚園 教諭

中河 良紀



この4月より豊田幼稚園にきました。新しい職場で、日々わからないことだらけですが、日々切磋琢磨しながらですが、楽しく保育をしています。

一度は、保育の仕事から離れたことが、やっぱり保育の仕事がやりたいと思い、再び戻ってきた仕事です。豊田幼稚園は、笑いの絶えない職場で、個性豊かな先生方が多く、色々なことを学ばせて頂いています。

まだ毎日のことに必死でいっぱいいるところがありますが、これから子どもたちと共に成長し向き合っていきたいと思っています。

三好丘聖マーガレット幼稚園 教諭
金城 菜津希

今年の春、柳城短期大学を卒業し、4月から三好丘聖マーガレット幼稚園で働いています。柳城短期大学の良いところは、

一人ひとりに親身になって対応くださるところだと思います。保育者は、いつも子どもたちに寄り添いながら、成長の過程を見守ることができます。そして、ひとつとして同じことが起こらない「人対人」の保育という仕事だからこそ、常に悩み続け、常に成長することができます。大好きな子どもたちのためにという想いで保育の幅を広げていき、子どもたちが毎日楽しいと思えるような保育をしていきたいです。

法人

事務局長

三枝 和也



4月より法人・大学・短期大学の事務局長としてお世話になります。

山梨県出身で公務員生活を13年（神奈川県）、私立学校事務職員を26年経験（山形県・北海道）し、孫のいる「おじいちゃん」職員です。単身生活をしながら新しい環境、新しい出会いを大切にしていきたいと思っています。これまでの経験が本学院のお役に立てればと思っています。よろしくお願いします。

附属幼稚園

柳城幼稚園

堀 由香



ご縁があり柳城幼稚園の一員になりました。柳城幼稚園の園庭には緑豊かで見事な木々がありとても素敵です。その園庭で伸び

■ 学院人事

■ 退職

2022年3月31日付

[名古屋柳城短期大学]

学長教授 芝田 郁子

教授 榎戸 裕子

(4月1日より特別任用教員)

職員 細川 領

[柳城幼稚園]

園長 織田 純代

(4月1日より特別任用)

[豊田幼稚園]

教諭 谷口 詩歩

教諭 正木 祐子

教諭 富松紗也加

[三好丘聖マーガレット幼稚園]

教諭 岡本 亜希

■ 採用

2022年4月1日付

[柳城学院]

事務局長 三枝 和也

[名古屋柳城短期大学]

助教 植松 愛

[柳城幼稚園]

教諭 堀 由香

[豊田幼稚園]

教諭 中河 良紀

[三好丘聖マーガレット幼稚園]

教諭 金城菜津希

■ 昇任

2022年4月1日付

[名古屋柳城女子大学]

学科長 小野 隆

[名古屋柳城短期大学]

学科長 若杉 雅夫

教授 野崎 真琴

教授 柴田 智世

講師 後藤 由美

■ 配置転換等

2022年4月1日付

[名古屋柳城女子大学・

名古屋柳城短期大学]

大学・短大総務部長

中村 博文

入試広報部長

大澤 弘毅

■ 再雇用(特別任用職員)

2022年4月1日付

[名古屋柳城短期大学]

教授 榎戸 裕子

[柳城幼稚園]

園長 織田 純代

■ 理事・監事・評議員

理事長 菊地 伸二

理事 西原 廉太

土井 宏純

宮島 義人

織田 純代

豊田 和子

加藤 高明

三枝 和也

監事 矢野美季恵

本田 直樹

評議員

髙柳久美子

菊地 伸二

豊田 和子

若杉 雅夫

織田 純代

榎戸 裕子

鎮旗 真弓

三枝 和也

宮島 義人

加藤 高明

土井 宏純

後藤 香織

西原 廉太

渡邊 陽子

山田やつか

加藤 陽子

山本 里絵

竹内 清

加藤 真人



マーガレット・ヤング基金



2011年に開始したマーガレット・ヤング基金には皆さまからの温かいご支援をいただき心より感謝申し上げます。

これまでに募金いただき他件数も829件にもなりました。本当にありがたいことです。この使途については当初より、奨学資金充実、特別活動支援、教育研究環境

整備と定められていることから、丁寧な給付を行っているところです。

皆さまから頂いた基金を今後も大切にに使わせていただきたいと思います。

今後ともご支援よろしくをお願いいたします。

■ マーガレット・ヤング基金 延べ数等

延べ件数：829件

寄付金総額：21,462,023円

■ マーガレット・ヤング基金給付奨学金制度利用者

2021年度：1名

@120,000 × 1 = 120,000円（四大生のみ）

■ 学生修学支援金

2021年度においては支出なし

収支報告

2022.3.31時点

項 目		(円)	備 考
収 入	募 金	1,317,812	(募金金額) - (手数料)
支 出	給付奨学金	120,000	
	2021年度収支差額	1,197,812	
	2021年度繰越金	13,375,698	
	2022年3月31日残高	14,573,510	



引き続き温かいご支援をお願いいたします



お知らせ



同窓生の皆さんへ

- 住所等に変更が生じましたら、是非大学総務課までお知らせください。学院報はじめ柳城からの大事なお知らせをお届けしたいと思えます。
- 大学の歴史資料室では同窓生の皆さんの思い出の資料をお預かりしています。何かお持ちでしたら総務課までご連絡をいただければと思います。
- 大学では園芸ボランティアさんを募集しています。近くにお住まい

の方はご検討ください。詳しくは同封されている『のぞみの会だより』でご覧いただけます。

- 学院報についてのご感想などをお待ちしています。

この記事の
連絡先

総務課

電 話 052-848-8129
F A X 052-841-2697
メール syomu@ryujo.ac.jp

※同窓会ホームページからも連絡可能。次のQRコードで。



- 学院報はホームページでも全ページご覧いただけます。

